

安曇野日和

連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智



令和7年10月に日本初の女性首相となった高市早苗氏による新政権が発足しました。先だって行われた自民党総裁選では5人の候補者の中で唯一日本の医療業界の危機的状況に言及して救済が必要であると強く訴えておりました。この時点から期待感をもって様子をうかがっていますが、現時点では精力的かつクリーンなイメージで活動しているように思われます。これまで新政権が発足すると早々に閣僚のゴシップを週刊誌がほじくり出して期待感とともに政権の勢いも失速することを繰り返してきました。高市政権においてはそういう横やりで勢いを失わず、医療業界の危機を救ってほしいと願っております。

そもそも病院や診療所は国民皆保険により費用の7割は国費でまかなわれています。他の業種と違って新しいことを始めて利益を伸ばしていくににくい。その代わりに不況の折でも易々と倒産することがないよう守られてきました。バブル崩壊後に長く不況が続いた日本ですが、ここ数年は物価と賃金の上昇により好況とまでは言えない状況ながらも生活にかかる費用は増えています。企業努力で経営改善を図りにくい医療業界は今の時代に合った保険点数の見直しが必須です。高市首相はまずは医療機関に向けて補助金を出すと公言しています。加えて来季の診療報酬改定では今後の報酬アップにつながる大きなプラス改定となることを心から期待しています。

表紙写真

写真タイトル：「向日葵」

撮影者：樋口 孝

病院の畑に毎年まいた向日葵の種が、畑いっぱいに立派に育ちました。
後方に見えているのが病棟です。青空によく合っていたので撮ってみました。

スイカレク

7月に、夏の味覚『スイカ』をメインとしたクリエーションが開催されました。

1-3病棟では、スイカの試食のほかに『アヒルすくいゲーム』が行われました。水に浮かぶおもちゃのアヒルの人形を、金魚すくいで使われるポイを使っていくつすくえるかを競うゲームです。ポイの使い方は様々で、あまり水につけないようポイの端を使ってすぐう方や、穴のあいた箇所を上手に避けて使っている方など、それぞれ工夫しながら真剣な様子で沢山のアヒルをすくいあげていました。



2-3病棟では本物のスイカを使ってスイカ割りが行われました。目隠しをした患者さんは他の患者さんやスタッフの「左！右！」などの声かけを頼りに進み、スイカの前に立つと力いっぱい叩いていました。しかし頑丈なスイカだったようでなかなか割れず、何名かで叩いてようやく割ることが出来ました。

スイカは波田産のスイカ

が用意されました。味は甘くて美味しいと大好評で、皆さん美めしそうに食べられていました。なかにはおかわりを希望される方もいらっしゃいました。



ひまわり畠

今年も農場にひまわりの花が咲き、患者さんの目を楽しませてくれました。

看護師長を中心に有志が集まり、7月に種まきをしました。保育所の子ども達も一緒に種を蒔いてくれました。

去年の花からとれた種の生育は順調で、7月・8月にかけてすくすく育ち、9月に大輪の花が咲きました。



病棟の窓からもひまわりが良く見え、多くの患者さんが楽しむことができました。



秋祭り

10月15日（水）院内の体育館において秋祭りが開催されました。前日まで雨が降っていましたが、当日は雨も上がり良い天気となりました。



今回は地域のイベントや福祉施設で音楽活動をされている「セピア・ベアーズ」の皆さんをお招きし、『もみじ』『故郷の空』など季節を感じられる曲や、『青い山脈』『星影のワルツ』といった懐かしい歌謡曲を披露して頂きました。

どの曲も患者さんが知っている曲ばかりで、みなさん一緒に口ずさんだり、手拍子をするなど会場全体が盛り上がっていました。

ステージ発表の後は屋台を楽しみました。今年はお好み焼き・おにぎり・部長そば・ジュース・デザート（今川焼、水羊羹、レアチーズケーキ）・射的の6種類の屋台が用意されました。



美味しかった。」「お好み焼きが良かった。」「射的で景品が貰えて嬉しかった」などの声がきかれ、それぞれ楽しんでいただくことができたようでした。

昨年までのお祭りでは、患者さんに屋台まで食べ物などを受け取りに行き、選んでもらっていましたが、年々車椅子などを使用される患者さんが増えているため、今年は屋台スタッフが座席まで商品をお届けするデリバリーサービスも取り入れて行いました。

秋祭り終了後、セピアベアーズさんの発表について、「とても良かった。」「あんなに歌い続けられるなんすごい。」などの感想が聞かれました。また屋台については、「そばが



第27回参院選不在者投票

当院は、不在者投票施設の指定を受けており、入院中で決められた投票所へ行くことが難しい患者さんも院内で不在者投票をすることができます。令和7年7月20日の第27回参議院議員通常選挙では、35名の患者さんが不在者投票を行いました。



職場体験学習

7月8・9日の2日間、中学生の職場体験学習がありました。病院は知っていても、その中でどのような職種があり、どのような仕事をしているかを詳しく知ることは少ないかもしれません。当院の中核である精神科看護をはじめ、様々な部署の業務について体験することで、将来就く仕事を考えるヒントとなれば幸いです。



看護実習生

今年度、7月と10月の2期にわたり、長野県看護大学の学生さんを受け入れました。



学生さんにはその日の業務の後、カンファレンスを通じて学びを深めてもらっています。精神科看護の実際に触れる学生さんの糧として将来に役立つことはもちろん、当院としても学生さんに教え、そこからフィードバックを受けることが技術研鑽に役立つ機会になっています。学生さんは小倉ホームも見学し、患者さんの退院後の生活についてもイメージが湧いたとのことでした。

病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 医療介護福祉の連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟200床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103

長野県安曇野市三郷小倉6086-2

TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

今年の10月は暑かったり寒かったり、11月は寒いだけになり、秋はどこへ行った?という気候でしたね。世界に四季がある理由を調べると、まず地軸の傾きと緯度の関係があり、日本付近では偏西風と海水温の影響があるそうです。夏になると偏西風が北に押し上げられられて海の温かい空気が流れ込み、冬になると偏西風が押し下げられて大陸の冷たい空気が流れ込んでくるそうです。偏西風は温かい空気と冷たい空気の境目に吹いているのですね。春と秋はちょうど日本の上に偏西風があるようです。